

ら抱える日常の問題点やストレス、生活環境が見えてくることで、患者さんに指導する指導内容が濃くなることを知った。有意義な実習であった。』、『このまま3期の実習が終わってしまったら、きっと後悔すると思った。今だからこそ学ぶことがあるのではないかと、色々な所に目を向けてみると、“〇〇先生の患者さんへの説明がとても分かりやすい。”、“患者さんのこんなところに注目していたんだ。”、“先生が説明している間に必要な準備が始まっている。”など、今まで気がつかなかった事が見えてきた。実践して動いてみると、日を重ねるごとに分かる事が増え実習が楽しくなった。』、『未だに治療の際焦ってしまうと周りへの意識が低くなってしまう。4期では、患者さんや周りのスタッフに対しての最善の行動は何か、様々な処置の中で何をすべきかを瞬時に判断して行動していきたいと思う。また、身に付けた知識を發揮しながら頭で考え過ぎず、たとえ失敗しても自らの反省点をみつけ改善に繋がる取り組みにしたい。実習施設の皆さんの温かさや優しさを模倣し、いつ何時でも明るくハキハキと患者さんを笑顔で迎えられる歯科衛生士を目指し、自信をつけていきたいと思う。』

注意深く人の行動・言動を観察することはとても大切です。その人が今何を望んでいるのか、どう行動したらいいのか、優先順位を考えた行動を心掛けてもらいたいと思います。目指すべく歯科衛生士像に向かってより多くの事を身に付けてほしいと願っています。

2) 臨床実習自己評価



「基本的事項に関する評価」

①社会人としての基本姿勢(7項目合算平均)

	1期	2期	3期
よくできた	53.9%	58.2%	60.0%
できた	34.3%	35.4%	33.2%
あと少し	11.4%	6.1%	6.1%
できなかった	0.4%	0.3%	0.7%

②患者理解(2項目合算平均)

	1期	2期	3期
よくできた	63.8%	57.5%	65.0%
できた	27.5%	30.0%	26.3%
あと少し	8.8%	12.5%	8.8%
できなかった	0.0%	0.0%	0.0%

③学習姿勢(6項目合算平均)

	1期	2期	3期
よくできた	32.5%	27.1%	40.8%
できた	44.6%	57.9%	43.8%
あと少し	21.7%	14.2%	15.4%
できなかった	1.3%	0.8%	0.0%

「実習帳に関する評価」(5項目合算平均)

	1期	2期	3期
よくできた	40.5%	38.5%	40.0%
できた	38.0%	46.5%	48.5%
あと少し	19.5%	14.0%	10.0%
できなかった	2.0%	1.0%	1.5%

「歯科診療補助に関する評価(13項目合算平均)

	1期	2期	3期
よくできた	19.8%	16.7%	26.7%
できた	38.1%	48.1%	45.8%
あと少し	34.4%	29.2%	22.5%
できなかった	5.2%	2.3%	1.5%
実施していない	2.5%	3.7%	3.5%

